

## 2026年度 第1四半期決算

富士電機株式会社  
2026年7月30日

© Fuji Electric Co., Ltd.

皆様、こんにちは。

ただいまご紹介いただきました、経営企画本部を所管しております三吉です。

本日はお忙しい中、当社の決算説明会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

決算説明に入る前に、2点ほど私から申し上げます。

はじめに、7月14日に冷凍冷蔵設備の特定のお客様向け取引に関し、独占禁止法違反の疑いがあるとして、公正取引委員会による立入検査を受けました。

当社といたしましては、今回の事態を重く受け止め、調査に全面的に協力して対処しているところでございます。お取引先様をはじめ関係の皆様にご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

2点目は、一昨日の28日に発生いたしました「令和8年熊本地震」についてでございます。

犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。猛暑の中で余震が続き、多くの方々が不安な日々を送られています。被災地域の皆様の安全確保と、1日も早い復旧をお祈り申し上げます。当社といたしましても、当該地域には多くのお取引先様があり、できる限りの支援に努めてまいります。

### ■2026年度 第1四半期実績（対前年）

売上高  
**2,733億円**  
(+253億円)

営業損益  
**250億円**  
(+69億円)

営業利益率  
**9.2%**  
(+1.9%)

純損益  
**207億円**  
(+98億円)

- ・ 前年同期比：売上高+10%、営業損益+38%
- ・ エネルギー、インダストリーが牽引

### ■2026年度 第2四半期（中間期）予想（対4/28予想）

売上高  
**5,940億円**  
(+250億円)

営業損益  
**580億円**  
(+140億円)

営業利益率  
**9.8%**  
(+2.0%)

純損益  
**400億円**  
(+65億円)

- ・ 1Q決算および足元の業績動向を踏まえて売上高、営業損益を上方修正

### ■2026年度 通期 予想

- ・ 上期の業績予想の修正を反映、下期は当初予想を据え置く

それでは、当社の第1四半期決算の内容につきましてご説明いたします。

売上高、営業利益、当期純損益はいずれも過去最高を更新いたしました。

エネルギー部門およびインダストリー部門が、業績を力強く牽引している状況でございます。

|                        |      |
|------------------------|------|
| 1. 2026年度 第1四半期実績（対前年） | P. 4 |
| 2. 貸借対照表／キャッシュフロー計算書   | P.15 |
| 3. 2026年度 業績予想         | P.18 |

|                        |      |
|------------------------|------|
| 1. 2026年度 第1四半期実績（対前年） | P. 4 |
| 2. 貸借対照表／キャッシュフロー計算書   | P.15 |
| 3. 2026年度 業績予想         | P.18 |

## 第1四半期 連結業績概要（対前年）

前年同期比で売上高 +10%、営業損益 +38%

|                                | 2025年度        | 2026年度        | 増減           |                         |                                   |
|--------------------------------|---------------|---------------|--------------|-------------------------|-----------------------------------|
|                                | (億円)          |               |              |                         |                                   |
| 売上高                            | 2,479         | 2,733         | 253          | 売上高増減                   |                                   |
| 営業損益<br>(営業利益率)                | 181<br>(7.3%) | 250<br>(9.2%) | 69<br>(1.9%) | 海外子会社の為替換算差による増収<br>需要増 | +69<br>+185                       |
| 経常損益                           | 173           | 256           | 83           | 営業外損益増減                 |                                   |
| 特別損益                           | -2            | 68            | 70           | 金融収支                    | 2025 2026<br>年度 年度<br>9 ( 3 → 12) |
| 税金等調整前<br>四半期純損益               | 171           | 324           | 153          | 為替差損益                   | 7 ( -7 → -1)                      |
| 法人税等                           | 58            | 107           | 50           | その他                     | -2 ( -3 → -5)                     |
| 非支配株主に帰属する<br>四半期純損益           | 4             | 10            | 6            |                         | 14 ( -8 → 6)                      |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純損益<br>(純利益率) | 109<br>(4.4%) | 207<br>(7.6%) | 98<br>(3.2%) | 特別損益増減                  |                                   |
|                                |               |               |              | 投資有価証券売却益               | 70 ( 0 → 70)                      |
|                                |               |               |              | その他                     | 1 ( -2 → -2)                      |
|                                |               |               |              |                         | 70 ( -2 → 68)                     |
| (期末レート：6月末)                    |               |               | (円)          |                         |                                   |
| US\$                           | 144.81        | 162.39        | 17.58        |                         |                                   |
| EURO                           | 169.66        | 185.35        | 15.69        |                         |                                   |
| RMB                            | 20.19         | 23.87         | 3.68         |                         |                                   |
| (平均為替レート)                      |               |               | (円)          |                         |                                   |
| US\$                           | 144.59        | 159.49        | 14.90        |                         |                                   |
| EURO                           | 163.80        | 185.39        | 21.59        |                         |                                   |
| RMB                            | 19.99         | 23.43         | 3.44         |                         |                                   |

第1四半期の連結業績概要（前年同期比）についてご説明いたします。

売上高は前年同期比253億円増の2,733億円（10%増）となりました。

営業損益は69億円増の250億円（38%増）となり、第1四半期時点での売上高営業利益率は9.2%に達しております。

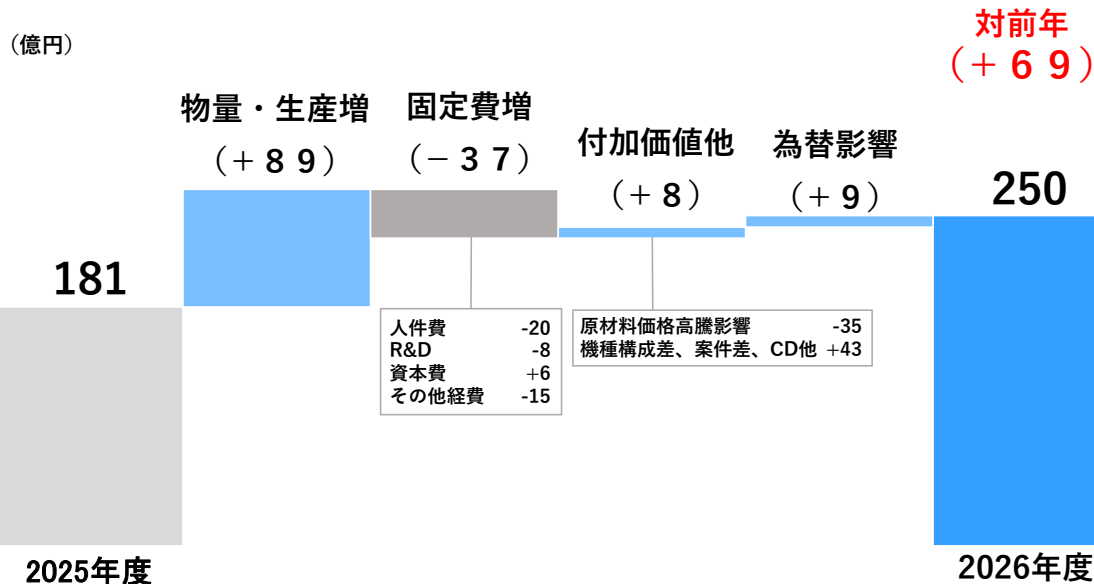
営業外損益につきましては、金融収支および為替差損益がともにプラスとなっております。金融収支には受取配当金の増加が含まれており、経常損益は83億円増の256億円となりました。

特別損益につきましては、投資有価証券売却益を計上したことにより、前年同期比70億円増の68億円となりました。

この結果、四半期純損益は前年同期比98億円増の207億円となっております。

## 第1四半期 営業損益増減分析（対前年）

固定費増、原材料価格高騰による影響があるものの  
物量・生産増、機種構成差、コストダウン等により増益



当第1四半期におきましては、物量・生産増が営業損益に89億円寄与しており、これが250億円の達成に大きく貢献いたしました。

ポイントを絞ってご解説いたします。

物量・生産増（+89億円）の内訳といたしましては、半導体部門の電装や食品流通部門の自動販売機が前年同期比で減収減益となったものの、エネルギー部門およびインダストリー部門のプラント・システム、あるいはコンポーネントにおける物量増によってカバーした形となっております。

固定費につきましては、人件費が前年同期比で20億円増加いたしました。また、その他経費につきましても物量増等に伴い15億円増加しております。

付加価値他におきましては、原材料価格の高騰影響や、機種構成差・案件差・コストダウンなどの要素が含まれております。

原材料価格の高騰につきましては、銀や銅などの価格上昇を受け、35億円のマイナス要因となりました。特にインダストリー部門の器具や半導体部門、さらには食品流通部門の一部で影響が出ております。

一方で機種構成差につきましては、発電プラントや施設・電源システムをはじめとするプラント・システム案件の採算改善などがプラスに寄与いたしました。また、インダストリー部門におきましても、プラント・システムを担うオートメーションや器具が貢献しております。なお、為替影響はプラス9億円でございます。

## 第1四半期 セグメント別売上高・営業損益（対前年）

エネルギー、インダストリーが牽引  
プラント・システム、コンポーネントともに需要が増加

（億円）

|         | 2025年度 |          |           | 2026年度 |          |           | 増減   |          |           |     |       |
|---------|--------|----------|-----------|--------|----------|-----------|------|----------|-----------|-----|-------|
|         | 売上高    | 営業<br>損益 | 営業<br>利益率 | 売上高    | 営業<br>損益 | 営業<br>利益率 | 売上高  | 営業<br>損益 | 営業<br>利益率 |     |       |
| エネルギー   | 742    | 84       | 11.4%     | 825    | 121      | 14.7%     | +12* | 83       | +3*       | 37  | 3.3%  |
| インダストリー | 873    | 29       | 3.3%      | 1,039  | 85       | 8.2%      | +22* | 166      | -3*       | 56  | 4.9%  |
| 半導体     | 548    | 49       | 8.9%      | 544    | 31       | 5.6%      | +34* | -4       | +9*       | -18 | -3.3% |
| 食品流通    | 263    | 31       | 11.9%     | 261    | 27       | 10.3%     |      | -2       |           | -4  | -1.6% |
| その他     | 138    | 8        | 5.6%      | 150    | 9        | 5.8%      |      | 13       |           | 1   | 0.2%  |
| 消去または全社 | -85    | -20      | -         | -87    | -23      | -         |      | -1       |           | -2  | -     |
| 合計      | 2,479  | 181      | 7.3%      | 2,733  | 250      | 9.2%      | +69* | 253      | +9*       | 69  | 1.9%  |

※2025年度実績は、2026年度の事業組替の数値を反映しています

\*為替影響

セグメント別の全体概況でございます。

冒頭でお伝えしました通り、エネルギー部門およびインダストリー部門が業績を牽引しております。これまでの決算説明でもプラント・システムの堅調さをお伝えしてまいりましたが、ここへ来てコンポーネントの需要が回復基調に転じたことが、インダストリー部門を中心とする売上高・営業損益の改善に大きく貢献いたしました。

当第1四半期時点における営業利益率は、エネルギー部門が14.7%まで高まり、インダストリー部門も8.2%と、前年同期比で大幅に改善しております。

それでは、セグメント別のポイントについてご説明いたします。

## 第1四半期 セグメント別業績概況（対前年）

### ■エネルギー

全サブセグメントで増益、営業利益率が向上

| （億円）            | 2025年度        | 2026年度         | 増減                  | 概況                                                                                                                                                        |
|-----------------|---------------|----------------|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 売上高             | 742           | 825            | 83<br>+12*          | <b>■発電プラント</b><br><u>増収増益（43%増収）</u><br>・ 工事進行案件の進捗増や案件差等により増収増益<br><b>■エネルギーマネジメント</b><br><u>増収増益（12%増収）</u><br>・ 蓄電システム案件の増加や、変電機器、電源機器の大口案件の増加等により増収増益 |
| 営業損益<br>（営業利益率） | 84<br>(11.4%) | 121<br>(14.7%) | 37<br>(3.3%)<br>+3* | <b>■施設・電源システム</b><br><u>減収増益（3%減収）</u><br>・ 国内データセンター向け大口案件の反動により減収<br>案件差等により増益<br><b>■設備工事</b><br><u>増収増益（2%増収）</u><br>・ 需要増や原価低減の推進等により増収増益            |

※2025年度実績は、2026年度の事業組替の数値を反映しています \*為替影響

エネルギー部門につきましては、全サブセグメントで増益を達成いたしました。とりわけ前年同期比で売上・営業損益の引き上げに大きく貢献したのが発電プラントでございます。同部門の売上増加額（83億円増）の約7割を発電プラントが占めております。工事進行基準案件の進捗増や案件差に加え、海外における地熱案件や水力発電案件が大きく寄与いたしました。

エネルギーマネジメントにつきましても、蓄電システム案件や変電関係が引き続き堅調に推移し、増収増益となっております。

皆様の関心が高い施設・電源システムにつきましては、前年同期比3%の減収となりました。これは昨年度の同期間に国内データセンター向けの大口案件が計上されていた反動によるものですが、その中でも増益は確保しております。また設備工事につきましても、売上・利益ともに堅調に推移しております。



## 第1四半期 セグメント別業績概況（対前年）

### ■インダストリー

全サブセグメントで増収  
コンポーネントは原材料価格高騰影響あるも需要増により増収増益

| （億円）            | 2025年度       | 2026年度       | 増減                  | 概況                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------|--------------|--------------|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 売上高             | 873          | 1,039        | 166<br>+22*         | <p>■FAコンポーネント<br/>増収増益（22%増収）<br/>・国内外の需要増を主因に増収増益</p> <p>■オートメーション<br/>増収増益（18%増収）<br/>・鉄鋼分野向け需要の増加等により増収増収に加え、前年同期の大口案件費用増の反動で増益</p> <p>■社会ソリューション<br/>増収減益（9%増収）<br/>・鉄道車両システムの需要増により増収、案件差等で減益</p> |
| 営業損益<br>（営業利益率） | 29<br>(3.3%) | 85<br>(8.2%) | 56<br>(4.9%)<br>-3* | <p>■器具<br/>増収増益（26%増収）<br/>・機械セットメーカー向け需要の増加により増収<br/>・原材料価格の高騰影響があったものの、需要増や価格改定等により増益</p> <p>■ITソリューション<br/>増収増益（18%増収）<br/>・民需・文教分野の大口案件の増加により増収増益</p>                                              |

※2025年度実績は、2026年度の事業組替の数値を反映しています \*為替影響

インダストリー部門におきましても全サブセグメントで増収を達成いたしました。コンポーネントの需要増加に加え、原材料価格の高騰が当初見込みほど膨らまなかったことも寄与し、営業損益の大きな改善につながっております。

コンポーネントの需要増加の中心は半導体製造装置やAI関連向けであり、工作機械等の需要も全体的に拡大しております。特に業績を牽引しているのはFAコンポーネントおよび器具であり、売上・営業利益ともに引き上げております。

またオートメーションにおきましては、前年同期に大口案件の費用増を計上していた反動もあり、増収および大幅な利益改善を達成いたしました。

# 第1四半期 セグメント別業績概況（対前年）

## ■半導体

電装分野の需要減、原材料価格高騰を主因に減益

| （億円）            | 2025年度       | 2026年度       | 増減                    | 概況                                                                                                                                                                                       |
|-----------------|--------------|--------------|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 売上高             | 548          | 544          | -4<br>+34*            | <p><u>売上同水準、減益</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業分野では、モータードライブ向けの需要増加と為替影響により増収</li> <li>電装分野では、電動車（xEV）向けパワー半導体の需要減少により減収</li> <li>原材料価格の高騰や電装分野における需要減等により減益</li> </ul> |
| 営業損益<br>（営業利益率） | 49<br>(8.9%) | 31<br>(5.6%) | -18<br>(-3.3%)<br>+9* |                                                                                                                                                                                          |

|      |        |        |     |
|------|--------|--------|-----|
| （億円） |        |        |     |
| 売上高  | 2025年度 | 2026年度 | 増減  |
| 産業   | 278    | 313    | 35  |
| 電装   | 270    | 231    | -39 |

|      |    |    |     |
|------|----|----|-----|
| 設備投資 | 90 | 28 | -62 |
| 資本費※ | 94 | 89 | -5  |

※資本費は、決算短信に記載の減価償却費および支払いリース料の総額

\*為替影響

続きまして、半導体部門でございます。

電装分野につきましては、海外のお客様の需要減少に伴い減収減益となりました。一方、産業分野につきましては、モータードライブ向けの需要増により売上高は増収となっております。

同部門の営業利益につきましては、原材料価格の高騰や、電装分野（電動車向け海外顧客）の需要減少が影響し、減益という結果になりました。

## 第1四半期 セグメント別業績概況（対前年）

### ■食品流通

国内自販機の需要減を主因に減益

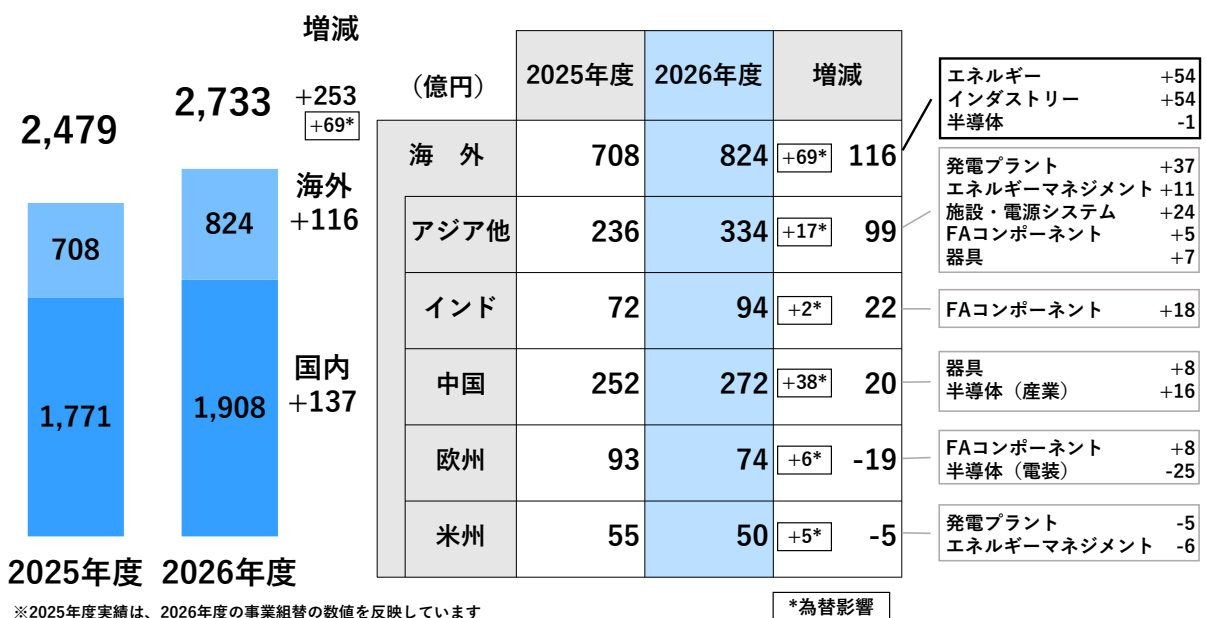
| （億円）            | 2025年度        | 2026年度        | 増減            | 概況                                                                                                                    |
|-----------------|---------------|---------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 売上高             | 263           | 261           | -2            | <p>■自販機<br/>減収減益（17%減収）<br/>・ 国内自販機の需要減少により減収減益</p> <p>■店舗流通<br/>増収増益（13%増収）<br/>・ コンビニエンスストア向けカウンター機材の需要増により増収増益</p> |
| 営業損益<br>（営業利益率） | 31<br>(11.9%) | 27<br>(10.3%) | -4<br>(-1.6%) |                                                                                                                       |

続きまして、食品流通部門でございます。

自動販売機が需要減少に伴い減収減益となりました。店舗流通での挽回を図りましたが、全体の営業損益をプラスまで持ち上げるには至りませんでした。

# 第1四半期 国内／海外・地域別売上高（対前年）

海外は為替影響を除くとアジア、インドで増収  
アジアは、エネルギーが牽引



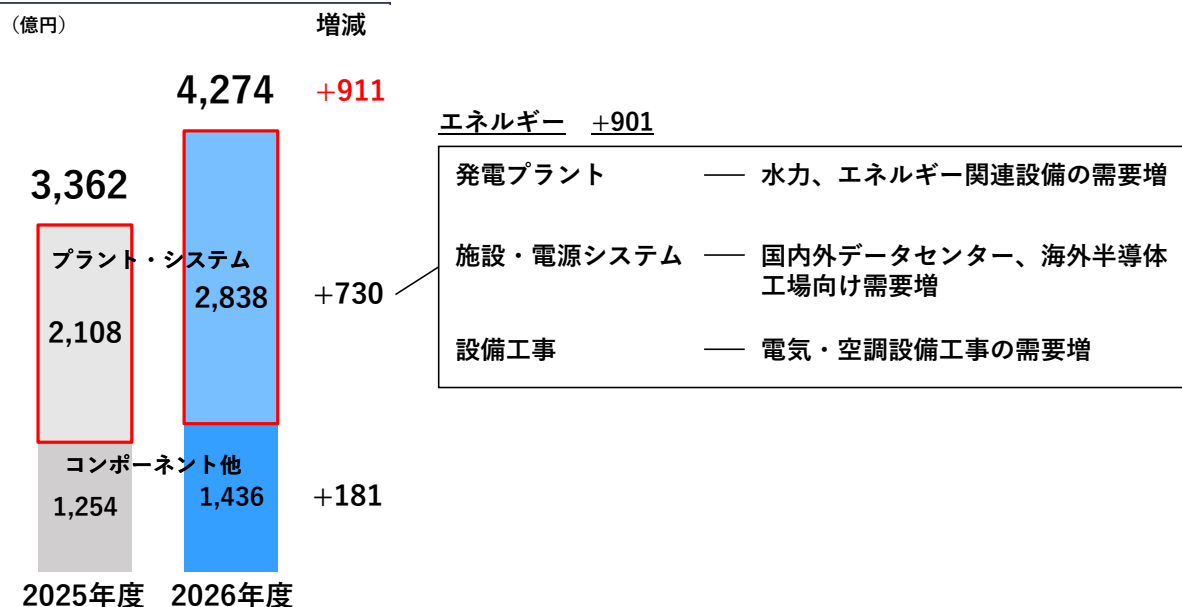
国内/海外および海外の地域別売上高の状況についてご説明いたします。

全体の売上高2,733億円のうち、海外売上高は前年同期比116億円増の824億円となりました。アジアおよびインドでの増収が主な牽引役となっております。

詳細は割愛いたしますが、海外におきましてもエネルギーとインダストリーの両部門が売上拡大を牽引しております。

## 第1四半期 受注高（対前年）

エネルギーのプラント・システムが増加  
施設・電源システムは好調継続



第1四半期受注高についてご説明いたします。

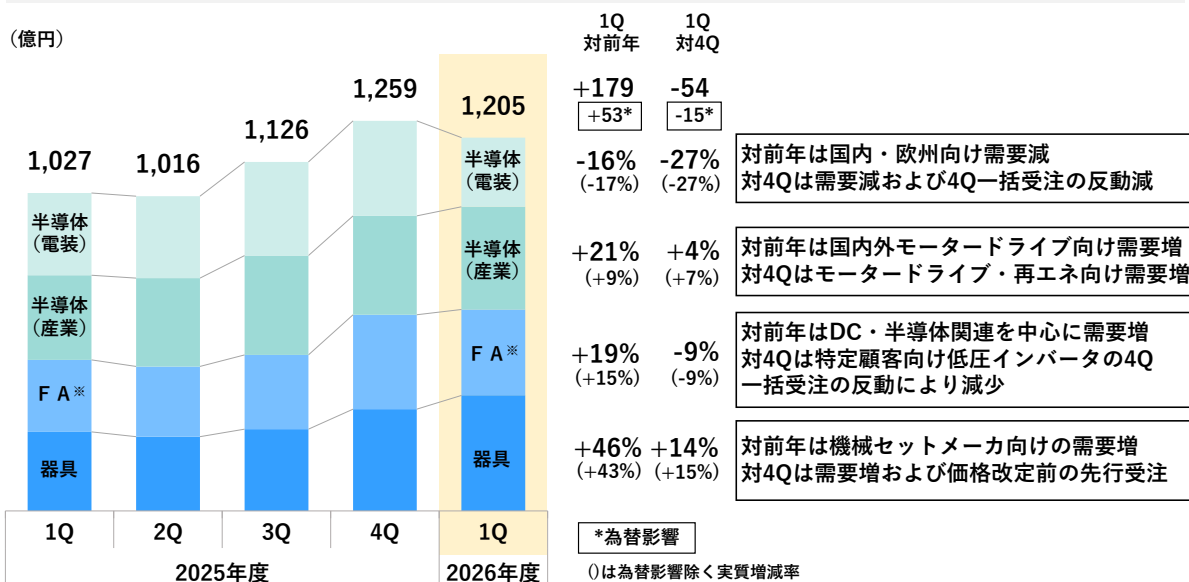
前年同期の受注高は3,362億円でしたが、当期は前年同期比911億円増の4,274億円となりました。

プラント・システムとコンポーネント他で分けると、プラント・システムで730億円の増加となっております。

なお、プラント・システムのうち、エネルギー部門で前年同期比900億円増加いたしました。これを牽引したのが施設・電源システム、発電プラント、設備工事でございます。特に施設・電源システムは、この900億円増加分の約3分の2を占めており、大幅に受注を伸ばしました。

## 四半期別受注高（主要コンポーネント）

前年同期に対してデータセンター・半導体関連を中心に回復  
前四半期に対して特殊要因を除き横ばい



四半期別コンポーネント受注高についてコメントいたします。

データセンターや半導体に関連する需要の回復に伴い、主要コンポーネントの受注も増加傾向にあります。

ポイントをご説明いたします。

まず器具におきましては、前年同期比46%増、前四半期比で14%増となりました。基本的には機械セットメーカー向けの需要が回復基調にあります。前四半期比での増加につきましては、お客様へ価格改定の通知を行った関係上、駆け込みの影響が第4四半期と第1四半期の比較において表れていると分析しております。

FAコンポーネントにつきましても、データセンターや半導体関連を中心に需要が増加いたしました。ただし前四半期比ではマイナス9%となっておりますが、これは前年度第4四半期に特定顧客向けの一括受注が入っていた反動減によるものです。

半導体の産業につきましては、国内外のモータードライブ向け需要が増加いたしました。これらのモータードライブは最終的に半導体関連市場等へ向けられるため、産業全体として前年同期比・前四半期比ともにプラスとなっております。

電装につきましては、海外顧客向けの需要減等の影響を受け、マイナスという結果になりました。

|                        |      |
|------------------------|------|
| 1. 2026年度 第1四半期実績（対前年） | P. 4 |
| 2. 貸借対照表／キャッシュフロー計算書   | P.15 |
| 3. 2026年度 業績予想         | P.18 |

## 第1四半期末 貸借対照表（対前年度末）

総資産は、棚卸資産が増加した一方で、売上債権の減少を主因に減少  
自己株式210億円の取得を実施

|             |         |         |       | (億円)        |         |         |      |
|-------------|---------|---------|-------|-------------|---------|---------|------|
| 資産の部        |         |         |       | 負債・純資産の部    |         |         |      |
|             | 26/3/31 | 26/6/30 | 増減    |             | 26/3/31 | 26/6/30 | 増減   |
| 現金及び預金      | 709     | 746     | 37    | 買入債務        | 1,909   | 1,647   | -262 |
| 売上債権        | 4,447   | 3,610   | -837  | 有利子負債       | 891     | 864     | -26  |
| 棚卸資産        | 2,571   | 2,799   | 229   | その他負債       | 2,838   | 2,733   | -105 |
| その他         | 592     | 681     | 89    | 負債 合計       | 5,637   | 5,244   | -393 |
| 流動資産 計      | 8,318   | 7,836   | -482  | 資本金         | 476     | 476     | -    |
| 有形固定資産      | 3,489   | 3,451   | -38   | 資本剰余金       | 638     | 638     | 0    |
| 無形固定資産      | 377     | 396     | 19    | 利益剰余金       | 5,659   | 5,705   | 46   |
| 投資その他の資産    | 1,882   | 1,894   | 13    | 自己株式        | -37     | -247    | -210 |
| 固定資産 計      | 5,748   | 5,741   | -7    | 株主資本        | 6,736   | 6,572   | -164 |
| 繰延資産        | 0       | 0       | -0    | その他の包括利益累計額 | 1,266   | 1,336   | 71   |
| 資産 合計       | 14,067  | 13,578  | -489  | 非支配株主持分     | 428     | 426     | -2   |
| 自己資本比率      | 56.9%   | 58.2%   | 1.4%  | 純資産 合計      | 8,429   | 8,334   | -95  |
| ネット有利子負債※1  | 192     | 130     | -62   | 負債・純資産 合計   | 14,067  | 13,578  | -489 |
| ネットD/Eレシオ※2 | 0.0倍    | 0.0倍    | -0.0倍 |             |         |         |      |

※1 ネット有利子負債：有利子負債-現金及び現金同等物

※2 ネットD/Eレシオ：ネット有利子負債 ÷ 自己資本

貸借対照表についてご説明いたします。

当第1四半期における総資産は、棚卸資産が229億円増加した一方で、売上債権が前年度末比で837億円減少したことなどを要因として、前年度末比489億円減の1兆3,578億円となりました。

自己資本比率は58.2%、ネット有利子負債は62億円減の130億円、ネットDEレシオは0.02倍となっております。また、事前にお知らせしておりました210億円の自己株式取得につきましても、当第1四半期中に実施を完了しており、本決算に反映されております。



# 第1四半期 キャッシュ・フロー計算書（対前年）

| (億円)                       |        |        |                       |
|----------------------------|--------|--------|-----------------------|
|                            | 2025年度 | 2026年度 | 増減要因                  |
| I 営業活動によるキャッシュフロー          | 111    | 515    | 売上債権と前受金の回収増加を主因に好転   |
| II 投資活動によるキャッシュフロー         | -217   | -72    | 株式売却の増加と設備投資の減少を主因に好転 |
| I + II フリー・キャッシュ・フロー (FCF) | -106   | 444    |                       |
| III 財務活動によるキャッシュフロー        | 82     | -421   |                       |
| IV 現金及び現金同等物の期末残高          | 589    | 734    |                       |

キャッシュ・フロー計算書でございます。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権や前受金の回収増加などを主因として、前年同期比404億円改善の515億円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、株式売却益の増加や設備投資の減少などを主因として146億円改善し、72億円のマイナスとなりました。この結果、フリー・キャッシュ・フローは前年同期比549億円改善の444億円となっております。

なお、財務活動によるキャッシュ・フローには、配当金161億円、自己株式の取得210億円が反映されております。

以上が決算の概要でございます。

|                        |      |
|------------------------|------|
| 1. 2026年度 第1四半期実績（対前年） | P. 4 |
| 2. 貸借対照表／キャッシュフロー計算書   | P.15 |
| 3. 2026年度 業績予想         | P.18 |

当第1四半期の決算内容および足元の業績動向を踏まえ、業績予想の修正を行いました。

## 第2四半期（中間期） 連結業績予想（対4/28予想）

### 1Q決算および足元の業績動向を踏まえて売上高、営業損益を上方修正

| (億円)                                                          |  | 4/28予想        |      | 7/30予想        |      | 増減            |      | 第2四半期の前提為替レート                |                 |                 |                |
|---------------------------------------------------------------|--|---------------|------|---------------|------|---------------|------|------------------------------|-----------------|-----------------|----------------|
| 売上高                                                           |  | 5,690         |      | 5,940         |      | 250           |      |                              | US\$            | EURO            | RMB            |
| 営業損益<br>(営業利益率)                                               |  | 440<br>(7.7%) |      | 580<br>(9.8%) |      | 140<br>(2.0%) |      | 4/28予想                       | ¥150.00<br>変更なし | ¥175.00<br>変更なし | ¥21.90<br>変更なし |
| 経常損益                                                          |  | 430           |      | 570           |      | 140           |      | 7/30予想                       |                 |                 |                |
| 親会社株主に帰属する<br>中間純損益<br>(純利益率)                                 |  | 335<br>(5.9%) |      | 400<br>(6.7%) |      | 65<br>(0.8%)  |      | 為替感応度※<br>(億円)               | -0.4            | 0.2             | 0.6            |
| ※営業損益ベース（2026年7月-9月の3ヶ月影響）<br>US\$、EUROは1円円安変動影響、RMBは1%円安変動影響 |  |               |      |               |      |               |      |                              |                 |                 |                |
|                                                               |  | 4/28予想        |      | 7/30予想        |      | 増減            |      | 増減要因                         |                 |                 |                |
|                                                               |  | 売上高           | 営業損益 | 売上高           | 営業損益 | 売上高           | 営業損益 |                              |                 |                 |                |
| エネルギー                                                         |  | 1,910         | 270  | 2,015         | 300  | 105           | 30   | 施設・電源システムのデータセンター・半導体工場向け需要増 |                 |                 |                |
| インダストリー                                                       |  | 2,090         | 120  | 2,235         | 195  | 145           | 75   | コンポーネントの需要回復                 |                 |                 |                |
| 半導体                                                           |  | 1,030         | 25   | 1,055         | 60   | 25            | 35   | 産業分野の需要増および原価低減推進、価格改定等      |                 |                 |                |
| 食品流通                                                          |  | 525           | 50   | 525           | 50   | 0             | 0    |                              |                 |                 |                |
| その他                                                           |  | 290           | 15   | 290           | 15   | 0             | 0    |                              |                 |                 |                |
| 消去または全社                                                       |  | -155          | -40  | -180          | -40  | -25           | 0    |                              |                 |                 |                |
| 合計                                                            |  | 5,690         | 440  | 5,940         | 580  | 250           | 140  |                              |                 |                 |                |

中間期の連結業績予想におきまして、売上高を250億円、営業損益を140億円、それぞれ上方修正いたします。

修正の理由といたしましては、好調を維持しているエネルギー部門に加え、コンポーネントの需要回復が顕著なインダストリー部門、ならびに需要増が見込まれる半導体の産業分野の状況を反映させたものでございます。

なお、為替レートにつきましては期初想定据え置きとしており、為替感応度につきましては米ドルで0.4億円のマイナス影響、人民元で0.6億円のプラス影響を見込んでおります。

## 第2四半期（中間期） 連結業績予想（対前年）

### エネルギー、インダストリーが牽引

| (億円)                          | 2025年度 実績     | 2026年度 7/30予想 | 増減                |
|-------------------------------|---------------|---------------|-------------------|
| 売上高                           | 5,432         | 5,940         | +50* 508          |
| 営業損益<br>(営業利益率)               | 428<br>(7.9%) | 580<br>(9.8%) | +7* 152<br>(1.9%) |
| 経常損益                          | 417           | 570           | 153               |
| 親会社株主に帰属する<br>中間純損益<br>(純利益率) | 266<br>(4.9%) | 400<br>(6.7%) | 134<br>(1.8%)     |

|         | 2025年度 実績 |      | 2026年度 7/30予想 |      | 増減       |         |
|---------|-----------|------|---------------|------|----------|---------|
|         | 売上高       | 営業損益 | 売上高           | 営業損益 | 売上高      | 営業損益    |
| エネルギー   | 1,661     | 189  | 2,015         | 300  | +35* 354 | +8* 111 |
| インダストリー | 2,054     | 111  | 2,235         | 195  | +4* 181  | -4* 84  |
| 半導体     | 1,087     | 90   | 1,055         | 60   | +13* -32 | +2* -30 |
| 食品流通    | 524       | 58   | 525           | 50   | 1        | -8      |
| その他     | 278       | 16   | 290           | 15   | 12       | -1      |
| 消去または全社 | -174      | -36  | -180          | -40  | -6       | -4      |
| 合計      | 5,432     | 428  | 5,940         | 580  | 508      | 152     |

※2025年度実績は、2026年度の事業組替の数値を反映しています

\*為替影響

前年同期での比較におきましては、売上高で508億円、営業損益で152億円、当期純損益におきましては134億円の改善を見込んでおります。セグメント別におきましても、エネルギー部門およびインダストリー部門が大きく改善する見通しでございます。

## 通期 連結業績予想（対4/28予想）

### 上期の業績予想の修正を反映、下期は当初予想を据え置く

| （億円）                          | 4/28予想           | 7/30予想           | 増減            |
|-------------------------------|------------------|------------------|---------------|
| 売上高                           | 12,750           | 13,000           | 250           |
| 営業損益<br>（営業利益率）               | 1,425<br>(11.2%) | 1,565<br>(12.0%) | 140<br>(0.9%) |
| 経常損益                          | 1,430            | 1,570            | 140           |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純損益<br>（純利益率） | 1,050<br>(8.2%)  | 1,115<br>(8.6%)  | 65<br>(0.3%)  |

#### 第2～4四半期の前提為替レート

|        | US\$    | EURO    | RMB    |
|--------|---------|---------|--------|
| 4/28予想 | ¥150.00 | ¥175.00 | ¥21.90 |
| 7/30予想 | 変更なし    | 変更なし    | 変更なし   |

|                |      |     |     |
|----------------|------|-----|-----|
| 為替感応度※<br>（億円） | -1.0 | 0.7 | 2.0 |
|----------------|------|-----|-----|

※営業損益ベース（2026年7月-2027年3月の9ヶ月影響）  
US\$、EUROは1円円安変動影響、RMBは1%円安変動影響

|         | 4/28予想 |       | 7/30予想 |       | 増減  |      |
|---------|--------|-------|--------|-------|-----|------|
|         | 売上高    | 営業損益  | 売上高    | 営業損益  | 売上高 | 営業損益 |
| エネルギー   | 4,550  | 710   | 4,655  | 740   | 105 | 30   |
| インダストリー | 4,540  | 480   | 4,685  | 555   | 145 | 75   |
| 半導体     | 2,250  | 130   | 2,275  | 165   | 25  | 35   |
| 食品流通    | 1,150  | 140   | 1,150  | 140   | 0   | 0    |
| その他     | 600    | 39    | 600    | 39    | 0   | 0    |
| 消去または全社 | -340   | -74   | -365   | -74   | -25 | 0    |
| 合計      | 12,750 | 1,425 | 13,000 | 1,565 | 250 | 140  |

© Fuji Electric Co., Ltd. 21

続きまして、通期の連結業績予想についてでございます。

通期予想につきましては、上期の上方修正分を反映するにとどめ、下期の予想につきましては当初計画を据え置くことといたしました。

この結果、通期予想は売上高1兆3,000億円、営業損益1,565億円（営業利益率12.0%）、当期純損益1,115億円（純利益率8.6%）とさせていただきます。

複雑な外部環境が続く中、下期の見通しにつきましてはプラント関連の受注動向等を見極めつつ、中間決算発表（10月末予定）の際に改めてご説明させていただきます。

最後に、例年聞かれることですので、コメントいたします。

想定為替レートを据え置く一方で、現状は円安基調で推移しております。これを踏まえて、海外の子会社の為替換算差によって業績への影響がどうなるのかということについてコメントをさせていただきます。

仮に現在の為替レート水準が維持された場合、上期の業績におきましては、売上高で2桁億円後半、営業損益は1桁レベルに留まるとみております。

また通期におきましても、売上高で200億円程度、営業損益で数十億円規模の上振れ要因になる、このような見立てを現在しているということを最後に付け加えまして、私からの説明にさせていただきます。

# 通期 連結業績予想（対前年）

| (億円)                          | 2025年度 実績        | 2026年度 7/30予想    | 増減    |               |
|-------------------------------|------------------|------------------|-------|---------------|
| 売上高                           | 12,276           | 13,000           | -127* | 724           |
| 営業損益<br>(営業利益率)               | 1,366<br>(11.1%) | 1,565<br>(12.0%) | -23*  | 199<br>(0.9%) |
| 経常損益                          | 1,393            | 1,570            |       | 177           |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純損益<br>(純利益率) | 980<br>(8.0%)    | 1,115<br>(8.6%)  |       | 135<br>(0.6%) |

|         | 2025年度 実績 |       | 2026年度 7/30予想 |       | 増減   |      |      |      |
|---------|-----------|-------|---------------|-------|------|------|------|------|
|         | 売上高       | 営業損益  | 売上高           | 営業損益  | 売上高  | 営業損益 | 売上高  | 営業損益 |
| エネルギー   | 3,964     | 595   | 4,655         | 740   | -17* | 691  | -1*  | 145  |
| インダストリー | 4,650     | 444   | 4,685         | 555   | -50* | 35   | -10* | 111  |
| 半導体     | 2,374     | 235   | 2,275         | 165   | -58* | -99  | -12* | -70  |
| 食品流通    | 1,080     | 131   | 1,150         | 140   |      | 70   |      | 9    |
| その他     | 584       | 39    | 600           | 39    |      | 16   |      | 0    |
| 消去または全社 | -375      | -78   | -365          | -74   |      | 10   |      | 4    |
| 合計      | 12,276    | 1,366 | 13,000        | 1,565 |      | 724  |      | 199  |

※2025年度実績は、2026年度の事業組替の数値を反映しています

\*為替影響

# Appendix

以下をご参照ください

<https://www.fujielectric.co.jp/common-resource/ir/data/Appendix.xlsx>



1. 本資料は監査法人によるレビュー手続の対象外であり、本説明会の時点において、監査法人によるレビュー手続は終了していません。
2. 本資料及び本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
3. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
4. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。